

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 253 号	氏名	楠本 浩一郎
学位審査委員	主査	松山 俊文	
	副査	兼松 隆之	
	副査	上平 憲	
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究目的の評価</p> <p>B型肝炎ウイルス (HBV) による急性肝炎と慢性肝炎からの急性増悪との鑑別には IgM-HBc の抗体価が用いられているが、慢性化しても IgM-HBc の抗体価の上昇が遷延する症例もあることから必ずしも絶対的な基準ではないと考えられている。本研究では慢性化した症例で変異が見られる HBV の Precore 領域と Core promoter 領域に焦点をあてて、急性肝炎と慢性肝炎急性増悪との鑑別への有用性を検討しようとしたものであり目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2. 研究手法に関する評価</p> <p>肝生検が施行できた急性肝炎と慢性肝炎急性増悪症例それぞれ 36 例について血清から HBV の DNA を抽出し、Precore 領域と Core promoter 領域の変異の有無をそれぞれの判定キットを用いて検出した。次に臨床データを含めた因子について、急性肝炎と慢性肝炎急性増悪との鑑別への有用性について logistic 回帰分析を行って検討した。これらの研究手法は目的に沿った妥当なものである。</p>			
<p>3. 解析・考察の評価</p> <p>本研究から、Precore 領域と Core promoter 領域の変異の有無は急性肝炎と慢性肝炎急性増悪との鑑別へ有用であることが示された。これらの研究成果は HBV の臨床へ寄与するところが大きく高く評価できる。</p> <p>審査員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			